

令和5年度 福井県立丹生高等学校 スクールプラン

業務改善のための取り組み

- ・ 諸会議の進行の工夫や議題の精選・ペーパーレス化に努め、時間短縮を図る。
- ・ 校務支援システムを有効活用し、業務の効率化を推進する。

人権教育の推進

- ・ 人権教育全体計画に基づいて、他人を思いやる心、多様性を受け入れる姿勢、人権を尊重する態度等を育成する。

(共通項目1)

教育課程・学習支援

- ・ わかる授業を通して、知識・技能の定着を図るとともに思考力を育てる。
- ・ 学習の習慣と規律を確立するとともに、主体的に学ぶ姿勢を育てる。

(共通項目2)

生徒支援

- ・ 基本的な生活習慣の定着と規範意識・人権意識の向上を図る。
- ・ 主体的、自律的な運営を柱として、部活動・生徒会の活性化を図る

(共通項目3)

進路支援

- ・ 3年間の進路指導計画に基づき個々の進路実現を支援する。
- ・ 大学入試改革等に関する情報収集、情報発信、個別相談の充実を図る。

(独自項目1)

保健安全・教育相談

- ・ 心身の健康を自分で管理できるように指導する。
- ・ 安全で安心して学べる環境を整備する。

(独自項目2)

読書奨励・情報発信

- ・ ICTを活用して図書館利用を促し、読書習慣の伸長を図る。
- ・ 学校HPを活用して、一層の情報発信に努める。

(独自項目3)

中高一貫教育

- ・ 実社会で生きて働く課題解決力、協働する力、考え抜く力を育てる。
- ・ 中高の探究活動における連続性をもたせる。

(独自項目4)

魅力化・周知

- ・ 昨年度の追い風を受け、今年は更に攻めの姿勢で、魅力化に努める。
- ・ 教職員総動員で定数確保に向け、手厚く分かりやすい周知をする。

具体的取り組み

- a 知識・技能の定着を基本とし、思考力を伸ばす授業改善をめざし、個別最適化された学びが可能となるよう全校体制で取り組む。
- 目標：知識・技能をもとに思考力を伸ばすことができたと回答した生徒 70%以上
- b 冊子「NYU LIFE」を活用し、計画的な学習習慣を身につけさせる。
- 目標：日々の課題について、学びを調整しつつ粘り強く取り組めたと回答した生徒 70%以上

具体的取り組み

- a 校内外での携帯電話のルール周知を図り、自己管理能力を高める。
- 目標：携帯電話の適正ルールを守り生活できた生徒 90%以上
- b 部長・キャプテン会議や各種委員会を充実し、部活動・生徒会の主体的で自律的な運営方法を指導する。
- 目標：主体的・自律的に部活動または委員会活動に取り組んだ生徒 90%以上

具体的取り組み

- a 主体的に自らの進路を考え、行動する意欲や態度を育てる。
- 目標：主体的に進路についての情報収集や体験学習等に参加した生徒 80%以上
- b 研修会や各種資料を改善し、教員や保護者への進路情報の周知に努める。
- 目標：進路情報の内容と提供に満足したと回答した保護者 80%以上

具体的取り組み

- a 年間を通して心身ともに健康的に生活する意識や態度を育てる。
- 目標：心身の健康を意識して生活できた生徒 80%以上
- b 教育相談担当と外部の各関係機関との連携を密にし、生徒の支援を行う。
- 目標：SC面談利用者、通級指導履修生徒および保護者の満足度 80%以上。

具体的取り組み

- a 電子図書導入により、いつでもどこでも読書ができる環境を整え、読書奨励に努める。
- 目標：貸出冊数 1,500冊以上、貸出者数 250名以上
- b 学校HPで、学校行事・部活動のみならずPTA・同窓会・100周年の情報も積極的に扱い、周知を促す。
- 目標：HP閲覧数 47,000回以上

具体的取り組み

- a 地域の課題探究や海外研修を通して、幅広い見識の獲得と、主体的に行動する能力を育成する。
- 目標：主体的に研究できたと回答した生徒 85%以上
- b 中3連携生対象の特別講義において、高校の探究活動を実体験させる。

具体的取り組み

- a 越前町と鯖江市を中心に、幅広いエリアからの入学者を一定数確保する。
- 目標：学力検査（本検査）で定数を確保し、2次募集を実施しない
- b 今年は学校案内を早期に発行する。オープンスクールは2回に減らし、中身を充実させる。1名を大事にしながらいち早く入学者を確保する。